

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年5月31日

1 事業名	予防接種事業	コード	3105
-------	--------	-----	------

2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	上原 幸代
--------	----	-------	----	-------	-----	-------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	保健・医療の推進	施策	健康づくりの推進
		予算科目	予防事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	予防接種法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	各種定期予防接種（四種混合、二種混合、不活化ポリオ、麻しん風しん混合、BCG、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、子宮頸がん、B型肝炎、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌）事業の実施。	
目的	対象者	市民
	意図	市民の感染症の発生の予防及びまん延防止を図り、健康な生活を送れるようにする。

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>予防接種法に基づく定期予防接種を次のように実施した。</p> <p>○実施状況</p> <p>①四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ） 1期初回3回 実施者：延べ909人、追加 実施者：307人 ②二種混合（ジフテリア・破傷風）2期 実施者：280人 ③不活化ポリオ（未接種者のみ） 追加 実施者：1人 ④麻しん風しん混合 1期 実施者：291人、2期 実施者：335人 ⑤BCG 実施者：312人 ⑥日本脳炎 1期初回2回 実施者：延べ654人、追加 実施者：303人、2期 実施者：263人、特例 実施者：321人 ⑦子宮頸がんワクチン（3回）…積極的勧奨差し控え中 実施者：延べ3人 ⑧ヒブワクチン（4回） 実施者：延べ1,140人 ⑨小児用肺炎球菌ワクチン（4回） 実施者：延べ1,216人 ⑩水痘（2回） 実施者：延べ596人 ⑪B型肝炎ワクチン（3回） 実施者：延べ921人 ⑫高齢者インフルエンザ 65歳以上対象者：16,669人 実施者：9,042人 ⑬高齢者用肺炎球菌ワクチン 年度年齢対象者：2,078人 実施者：490人</p> <p>○実施場所</p> <p>・保健センター（各月5回 計60回）…①四種混合、②二種混合、⑤BCG、⑥日本脳炎（第1・2期）、（③不活化ポリオ） ・指定医療機関（通年）…④麻しん風しん混合、⑥日本脳炎（特例）、⑦子宮頸がんワクチン、⑧ヒブ、 ⑨小児用肺炎球菌、⑩水痘、⑪B型肝炎、⑬高齢者用肺炎球菌、 ⑫高齢者インフルエンザ（期間限定）</p> <p>○定期予防接種県外等接種者給付金</p> <p>・給付実績 7人（7ワクチン18回） 内訳：四種混合 4回、麻しん風しん混合 1回、BCG 3回、日本脳炎 1回、ヒブ 3回、小児用肺炎球菌 3回、B型肝炎 3回</p> <p>○風しんの追加的対策</p> <p>昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれた男性に対する3年間の時限措置 対象者2,558人、希望者 88人 抗体検査 832人、陽性 603人、陰性 229人 うち定期接種（第5期） 219人</p>		
前年度の課題への対応	健康管理システムで接種履歴を職員2名で確認するとともに、記録簿を作成し、不必要な接種をすることのないよう体制を整えた。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	接種者			単位	人
	実績値	18,589	18,757	17,621	
	*指標の説明	接種者数は、定期接種の合計（H30～県外接種者を含む）			
② 成果指標（指標名）	対象者に対する接種者の割合（接種率）			単位	%
	目標値	52.0	50.6	52.5	54.2
	実績値	50.6	52.5	54.2	
	達成度	97.3%	103.8%	103.2%	
	*指標の説明	高齢者インフルエンザの接種率			
*目標値の設定方法の説明	前年度の実績値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	101,731,636	102,194,037	108,357,659	133,700,000
経常経費	101,722,676	101,987,104	99,051,351	112,478,000
臨時的経費	8,960	206,933	9,306,308	21,222,000
* 臨時的経費の説明	H29: B型肝炎ワクチン予防接種、H30: R1: 健康被害救済、R1: 風しんの追加的対策			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	9,920,000	9,920,000	9,920,000	9,920,000
正規職員の人数(人)	1.24	1.24	1.24	1.24
③ 合計コスト(①+②)	111,651,636	112,114,037	118,277,659	143,620,000
前年度比		100.4%	105.5%	121.4%
財源	111,625,536	112,087,862	113,793,609	136,032,000
一般財源				
内訳	26,100	26,175	4,484,050	7,588,000
特定財源				
* 特定財源の説明	予防接種健康被害対策事業費県負担金、R1: 感染症予防事業費等国庫補助金、ワクチン再接種費用助成事業県補助金			
④ 活動一単位あたりコスト	6,006	5,966	6,184	
前年度比		99.3%	103.7%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
予防接種事故賠償補償保険掛金	件数	1	1	1	1
	金額	96,466	95,450	94,585	110,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	96,466	95,450	94,585	110,000
	割合	0.09%	0.09%	0.09%	0.08%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	103.2%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	103.2%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 保健センターでの集団接種（四種混合・BCG）を実施しているが、より安全に実施できる体制が課題となっている。	
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 医師会等と協議した結果、医療機関での個別接種に移行する。	
改善方法	改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---